

---

# バカと武器と召喚獣

名前未定

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

バカと武器と召喚獣

### 【Zコード】

Z0258Z

### 【作者名】

名前未定

### 【あらすじ】

主人公は、武器が好きです。  
できるだけキャラ崩壊しないようにします。

初小説です。文字や表現など間違っているかもしれません。

アニメしか見てないんで、アニメの方を重視する可能性がおおいに高いです。

## のんびり少年（前書き）

初小説です。文字や表現など間違えているかもしれません。間違えていたら「ここ間違えている」と教えてください。

主人公の名前は、三話まで決めます。

## のんびり少年

春、ここ文月学園も春、そこに遅刻ギリギリなのに普通に歩いてくる青年がおつた。

そして、校門の前で一人の男が立っていた。

鉄人「お前は、急ごうとは思わないのか?」

? ? ? 「んつ? ああ… 鉄人か? …」

鉄人「鉄人じやない、西村先生と呼べ」

? ? ? 「んで、何ですか? 西村先生」

すると封筒を渡された。

鉄人「振り分け試験の結果だ。」

? ? ? 「渡さなくても、俺が何処だか、わかりますよ。」

鉄人「一応渡すことになつてているかな。全くお前は、なぜ振り分け試験日に休むんだ。」

お前ならBやCに行けたはずだろ?」

? ? ? 「まつ、気にしないでください。」

鉄人「全くお前は、一度補習を受ける必要があるな。

まあいい、早く行けもうすぐで、チャイムがなるぞ」

??.??.「えじや、あいつひるど～」

と言しながら教室に向かった。

廊下を歩きながら封筒を開け中にある紙を見ていつ話した。

??.??.「やつぱつクラスか

Fクラスの住人？ あっ！ 間違えた。

クラスメート（前書き）

今回もあやふやだな～

Fクラスの住人？ あつ！間違えた。 クラスマート

俺は、A、B、C、D、Eクラスの教室を通りて思った。

「ふーん、格差社会でな感じだな……」

実は、俺は1年の2月頃に転校してきて学校のことは全然分からないし、友達は、少ない

だが、この学校には、面白いシステムがある。それは、試験召喚獣システムと叫ぶ。

3月中旬に俺は、召喚獣の扱いを先生に許可をもらひ、一応慣れさせてもらつた。

今俺は、Fクラスのドアの前にいる。

「ふーん、ここがFクラスかあ

E、Fの差が激しいなあ～、一気にぼろくなつたなあ～。」

あんまり気にしないようにしよう。

ドアを開けると男ばっかり、まつ友達作るチャンスかもしれないけど。

「先生おはよ～いります。」

福原先生「おはよ～いります。席は、自由なので好きな所へどうぞ。」

「わかりました。」

俺は、窓側の席についた。（ちやぶ台と座布団）

そのあとにチャイムが鳴つて、ちょっとした後に、誰か入ってきた。

明久「ここがFクラスの教室！？」

「これが格差社会で、奴か！」

福原先生「吉井君、早く席についてください。」

明久「はあ～（ - 。 - ） = 3 んで、僕の席は、どこですか？」

福原先生「好きな席へどうぞ。」

明久「席も決まってないのー！！！」

そう言いながらはつて来た奴は席についた。

明久「！！ 先生、僕の座布団、綿が入って無いんですけど…」

福原先生「我慢してください。」

明久「先生、すきま風入ってるんですけど…」

福原先生「我慢してください。」

「バキ！」

明久「先生、ちやぶ台の足が折れたんですけど…」

福原先生「我慢S」「明久「無理だよ…」」

福原先生「はつはつはつ、冗談ですよ、これで直してください」

そう言いながら木下ボンドを出した。

なんだこのやり取りと思いながら先生が、自己紹介し始めた。

福原先生「えー、私が、Fクラス担任福原です。皆さん、よろしくお願いします。では、廊下側の人から自己紹介をお願いします。」

秀吉ひでのじた「木下ひでのじ 秀吉ひでのじじゃ、演劇部に所属してある。今年一年よろしく頼むぞい」

女見てーな奴だな。

ムツツリーー「……土屋康太つちやこうた 趣味は盜ぬすり、何もない 特技は、  
盜ぬすり、何もない…」

アイツ絶対になんか隠してる。

美波みなみ「うちの名前は島田美波しまだみなみです。ドイツ育ちで、日本語は、話せますけど読み書きは、苦手です。趣味は吉井をなぐることです。  
はいはいはー、吉井、今年もよろしくね」

おいおい吉井と言い奴がびびっているぞ。

明久「えーと吉井明久よしふじあきひさです。

気軽に、「ダーリン」って呼んでくださいね。」

Fクラスみんな「ダーリンー！」

わっかたことがある吉井とか言つ奴はバカだ。  
と思いつつ自分の番だ。

？？？「俺の名前は.....」

Fクラスの住人？ あつ！間違えた。 クラスマート（後書き）

次回まで主人公の名前を決めないといけないな  
+キャラ紹介しないと

それに終わりかたがちょっとまいいや

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0258z/>

---

バカと武器と召喚獣

2011年12月1日21時56分発行